

造影CT検査前の補液(eGFR値の確認)、ビグアナイド薬の休薬について

eGFRの数値を確認して、**検査前後**に補液の点滴、ビグアナイド薬の休薬を検討します。

病期	eGFR	重症度	CT	点滴速度	ビグアナイド薬の休薬
1	90以上	eGFR 正常or亢進	なし(経口にて水分補給)		検査当日～48時間後まで中止 (合計2日間)
2	60～89	eGFR 軽度低下	なし(経口にて水分補給)		検査当日～48時間後まで中止 (合計2日間)
3	30～59	eGFR 中等度低下	生食0.9% 500ml、ラクテック等 (検査前、後に1本ずつ)	*ネフローゼ、心不全、低アルブミン、 溢水がある場合、 輸液減量と速度を落とす必要あり	検査前48時間～検査後48時間 (合計4日間)
4	15～29	eGFR 高度低下	<h2>原則禁忌</h2>		
5	>15 透析	腎不全、透析			

造影剤腎症(CIN)

造影剤に起因する腎症のことで、急性腎不全を起こすものである。通常は1週間程度で回復するが稀に透析が必要となる慢性腎不全に至ることもある。

危険因子

- ・腎機能障害
- ・糖尿病性腎症
- ・脱水
- ・うっ血性心不全
- ・高齢
- ・腎毒性のある薬剤使用

予防 経口での水分補給、補液の点滴

ビグアナイド薬休薬理由

ヨード造影剤投与⇒腎機能低下⇒ビグアナイド薬排泄低下⇒
乳酸アシドーシス

乳酸アシドーシス

血液中に乳酸が増えすぎて、血液が酸性状態になること。食欲不振、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛といった初期症状が急激に始まって、進行すると過呼吸、脱水低血圧、低体温、昏睡などの症状を引き起こすこともある。

